

・海外感染症流行情報 2025年4月**(1) アジア：デング熱の流行状況**

WHO 西太平洋事務局および南東アジア事務局の報告では、今年のアジアのデング熱患者数は今のところ例年並みになっています（WHO 西太平洋 25-4-3、WHO 南東アジア 25-4-9）。一方、米国 CDC によれば、フィリピン、フィジー、タヒチ、トンガなど南太平洋の国々で、今年になりデング熱の患者数が増加しています（米国 CDC Traveler's Health 25-4-15）。南太平洋は日本からの観光客も多い地域であり、滞在中は蚊に刺されないよう注意してください。

(2) アフリカ：エチオピアでのマラリアとコレラの流行

東アフリカのエチオピアでマラリア患者が増加しています。今年は2月末までに患者数が90万人にのぼっており、西部の Gambella 地域で多く発生しています（英国 Fit For Travel 25-3-31）。この地域ではコレラも流行しており、3月末までに2500人以上の患者が確認されました（英国 National Travel Health Network and Center 25-4-15）。

(3) 北米：米国での鳥インフルエンザ H5N1 型の流行状況

米国で昨年発生している鳥インフルエンザ H5N1 型ウイルスの患者は、この1ヶ月間増加しておらず、70人のままです（米国 CDC 25-4-22）。一方、ウシの感染は、この1ヶ月間でアイダホ州など西部を中心に35例が確認されました（US Department of agriculture 25-4-22）。また、隣国のメキシコでは、4月初旬に北西部の Durango 州で、3歳女児が H5N1 型ウイルスに感染し死亡しました（WHO-4-17）。この女児から検出されたウイルスは米国で流行している種類（clade 2.3.4.4b）と同じですが、より病原性の高い型です。感染経路は今のところ明らかになっていません。

(4) 北米：米国、カナダで麻疹患者が増加

米国では今年になりテキサス州を中心に麻疹患者が増加しており、4月中旬までに患者数は800人以上で、このうち3人が死亡しました（米国 CDC 25-4-18）。昨年の年間患者数は既に越えており、2019年に記録した2000年以降の最多数（年間1274人）も越える可能性があります。患者の7割は20歳未満の世代で、ワクチン接種を受けていない者がほとんどです。カナダでもオンタリオ州を中心に麻疹患者が多発しており、今年に入ってから累積患者数は700人以上になりました（ヨーロッパ CDC 25-4-16）。

(5) 南米：南米での黄熱流行地域の拡大

今年は南米で黄熱の患者数が増加しており、コロンビア、ペルー、ボリビアでは、患者が新たな地域で発生しています（米国 CDC Traveler's Health 25-4-15）。このため、米国 CDC は黄熱ワクチンの接種推奨地域を拡大しました。コロンビアではアンデス山中のトリマで患者が増加しており、4月中旬までに累積患者数は57人（23人死亡）になっています（英国 National Travel Health Network and Center 25-4-17）。

・日本国内での輸入感染症の発生状況（2025年3月10日～25年4月6日）

最近1ヶ月間の輸入感染症の発生状況について、国立健康危機管理研究機構・感染症情報提供サイトの感染症発生動向調査を参考に作成しました。

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/idwr/2025/index.html>

(1) 経口感染症：輸入例としては細菌性赤痢2人、腸管出血性大腸菌感染症9人、腸チフス1人、バラチフス1人、アメーバ赤痢1人、ジアルジア1人、A型肝炎1人が発生しています。腸管出血性大腸菌感染症の感染国は韓国が5人と多くなっています。

(2) 昆虫が媒介する感染症：デング熱は4人発生し、前月（14人）より減少しました。感染国はインドネシアが3人でした。マラリアの患者は1人で、感染国はエチオピア、チクングニア熱は1人で、感染国はインドネシアでした。

(3) その他の感染症：麻疹の患者が18人発生し、前月（13人）から増加しました。ベトナムでの感染が15人と多くなっています。風疹の患者は1人で、ロシアでの感染でした。